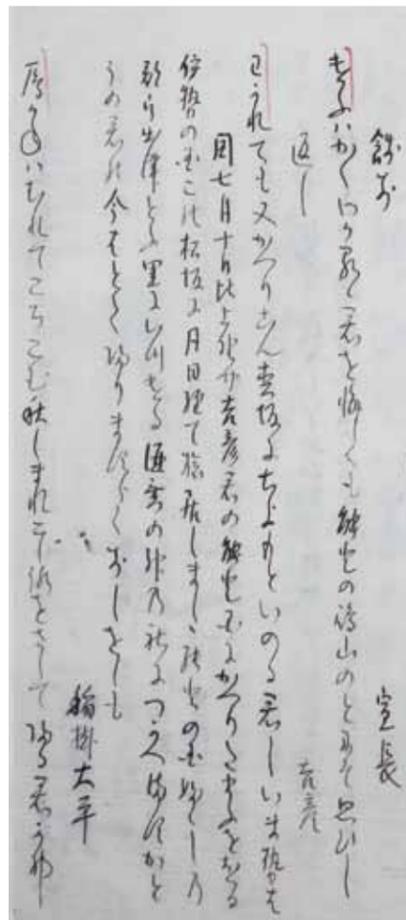


# 千尋の浜草

加藤三千雄さんがたどる先祖・吉彦の鈴屋入門

旅日記⑫ 別れの饞別として宣長と歌を詠み合う



『千尋の浜草』最終頁 宣長、学友たちと歌を交わすくだり（訳は本文参照）  
吉彦は自身の名前を、師宣長、稲掛（本居）大平の名前より一字下に配する



鈴屋（本居宣長記念館）に遺る吉彦自筆の短冊  
わかれても 又帰りこんまつさかに 千世もといのる 君しいませは 吉彦

吉彦は、2カ月半に及ぶ「お国学び」の留学を終えて帰郷するにあたって「後の7月9日（旧暦には3年に一度、閏月がある）」からその準備をはじめました。師や学友はもちろん、もぐさで生計をたてる朝顔好きの竹屋嘉右衛門、近所の狂歌好きの染物屋のおっさん桔梗屋半兵衛などなど、お世話になった人に歌を贈呈し、挨拶まわりを済ませました。伊勢山田の山口久貞家に留まり、ここで写本などを整理し荷造りしたようです。

「後の7月17日」、改めて別れの挨拶をするために、松阪の鈴屋を訪ねて、さらに授業料2分（今の2万円前後）を納めています。いよいよ宣長の妻女や下女に見送られ、能登へ旅立ちました。吉彦の帰郷にあたり、送別会を催したかは定かではありませんが、宣長をはじめ学友たちは饞別として歌を詠み合った、と記しています。

饞別 宣長  
けふはかく わかるる君を悔しくも  
能登の嶋山のとにぞ思ひし  
返し 吉彦  
わかれても 又かえりこむ松坂に  
千世もといのる 君しいませは

「閏七月十日頃 上野介吉彦君の能登国に帰たまふをおくる 伊勢の国この松坂に月日経て旅居しました能登の国鳳至の郡・宇出津といふ里にいつける 酒垂の神の社に仕えます 加藤の君の今はとて帰りますらく別しをしも」

高弟である稲掛大平、殿邑安守、中津元義、孝寿の饞別歌を書き記し、この紀行文・千尋の浜草を閉じています。吉彦が宣長に詠み返した短冊は、今でも鈴屋・本居宣長記念館に遺されています。

加藤吉彦の自著、写本は現在、宇出津城山の能登町歴史民俗資料館に展示公開されています。



寛政の旅人：加藤吉彦（かとう・えひこ）。寛政9（1797）年、36歳の時、伊勢の本居宣長の元を訪ね入門。酒垂神社 12代宮司。  
平成の旅人：加藤三千雄（かとう・みちお=写真）。現酒垂神社宮司。9代前の先祖、吉彦の道中を実際にたどり、伊勢松坂で吉彦と宣長の交流の跡を目の当たりにした。

「広報のと」12月号の印刷費は一部当たり34円です。



広報のと 第118号

平成26年12月1日発行

発行・能登町 編集・広報情報推進課  
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-97番地1

☎：0768-62-10000  
能登町URL：http://www.town.noto.lg.jp  
Eメール：info@town.noto.lg.jp

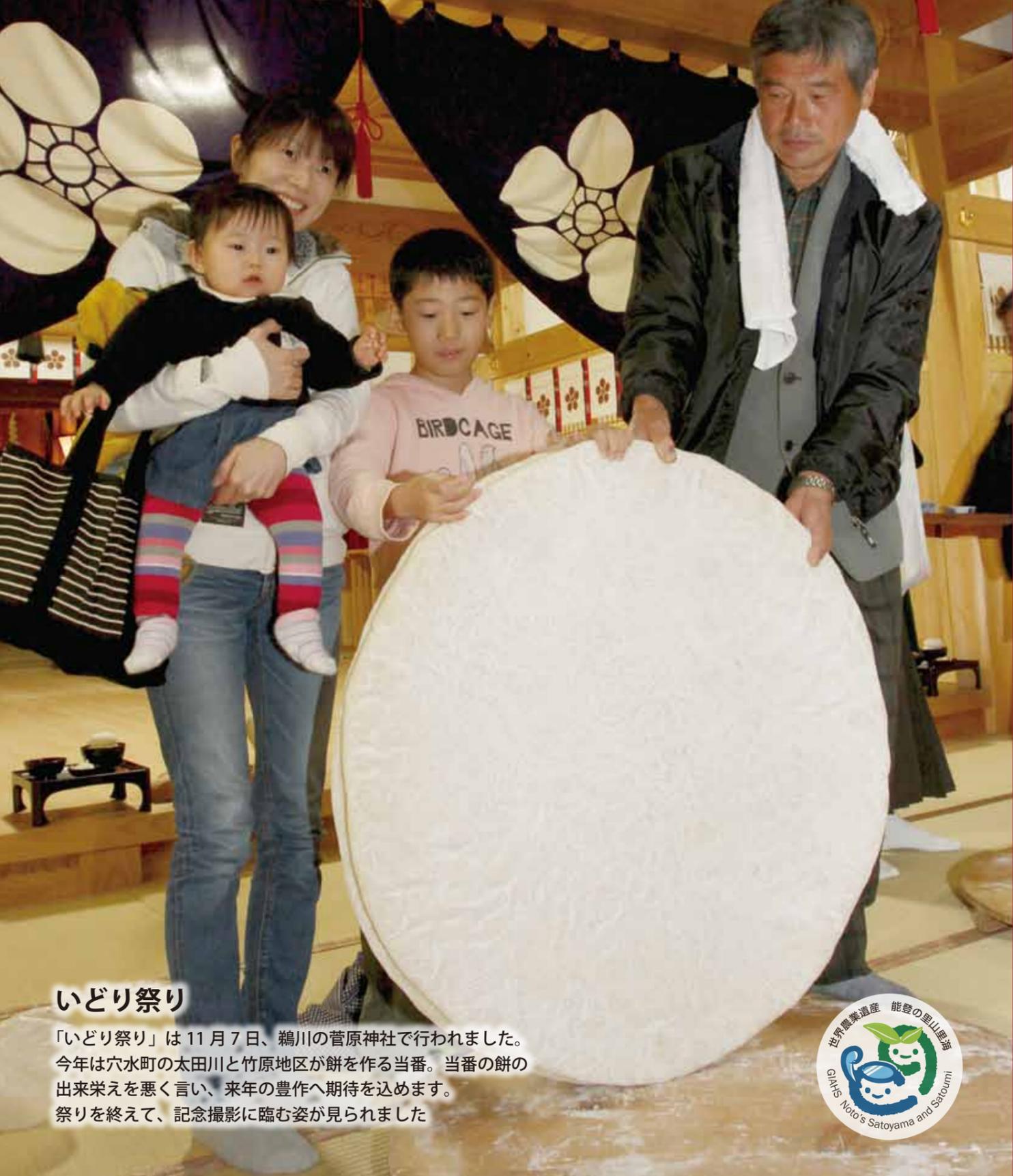
広報のとNo.118  
2014.12.1

12

「行政」「人」「地域の魅力・価値」を「プラス」でつなぐ情報誌

PLUS

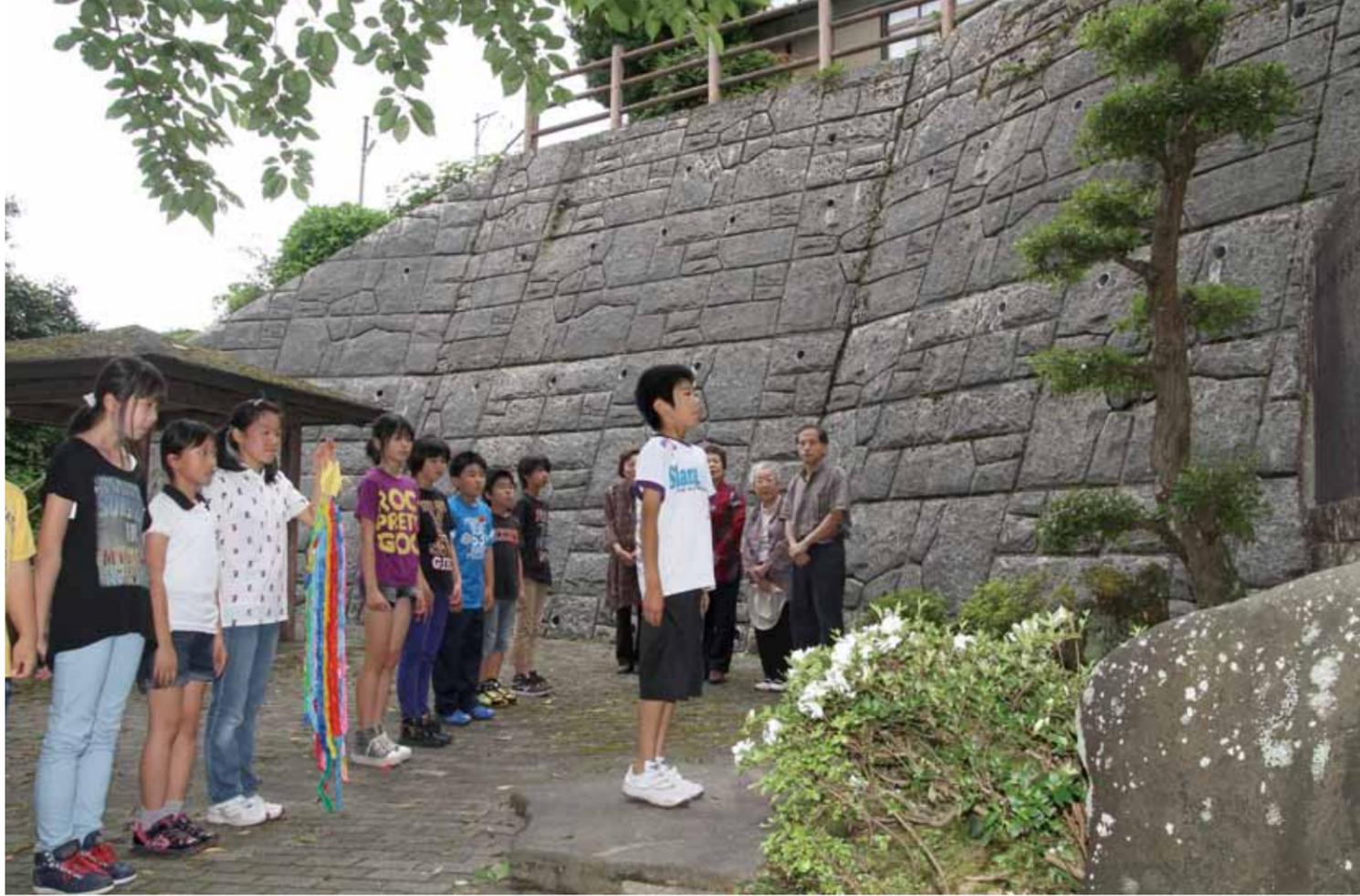
NOTO



## いどり祭り

「いどり祭り」は11月7日、鶴川の菅原神社で行われました。今年は穴水町の太田川と竹原地区が餅を作る当番。当番の餅の出来栄を悪く言い、来年の豊作へ期待を込めます。祭りを終えて、記念撮影に臨む姿が見られました





桜町防空壕落盤事故慰霊碑に平和を誓う児童

### 日本に関係する主なできごと

- 1894年・明治27年 8月1日 日清戦争勃発
- 1904年・明治37年 2月10日 日露戦争勃発
- 1905年・明治38年 5月27日 日本海海戦でロシアのバルチック艦隊壊滅
- 9月5日 日露講和成立
- 1931年・昭和6年 9月18日 満州事変勃発
- 1937年・昭和12年 7月7日 盧溝橋事件・中国に全面侵攻
- 1939年・昭和14年 5月12日 ノモンハン事件。日ソ両軍が戦闘
- 1941年・昭和16年 12月8日 真珠湾攻撃。太平洋戦争が勃発
- 1945年・昭和20年 8月6日 広島に原爆投下
- 8月9日 長崎に原爆投下
- 8月15日 日本降伏、太平洋戦争集結

### 高齢化が進み困難になる 平和を伝える活動

能登町の日清戦争以後の戦没者は1,455人です。各地に忠魂碑や慰霊碑が建立されていて、毎年追悼の行事が開催されています。

町には能都・柳田・内浦の各地区に遺族会があり、これらから組織される能登町遺族連合会が、町慰霊祭の実施や、県の行事への参加などの事業を行っています。現在の会員数は401人いますが、高齢化が進んでいます。

高齢化により、平成25年には県の傷痍軍人会が組織を解散、翌年には旧日本海軍の戦友会である「県海交会」もその活動を終えました。戦争の体験を訴え、平和を伝える活動が困難になってきました。

	能都地区	柳田地区	内浦地区	合計
戦没者数	709	279	467	1,455
遺族会の会員数	125	85	183	401
今年の追悼式の参加者数				115



# 語り継ぐ 平和の誓い

12月8日は太平洋戦争の開戦・真珠湾攻撃の日です。20世紀は「戦争の世紀」と呼ばれるほど、世界中に大きな傷跡を残しました。ふるさと能登が経験した戦争の記憶を風化させないように、活動を続ける人たちがいます。



# 今も癒えぬ 遺族の悲しみ

父亡き後、迷い苦しんだ  
戦後の生活

能登町遺族連合会長の益田英治さん  
「鶴川」は、太平洋戦争で父の盛夫さん  
を亡くしました。大阪・吹田の駅近くで  
表具店を営んでいた益田さん一家。英治  
さんの一番古い記憶はこの吹田周辺の風景  
です。父と母、弟の4人家族でした。

「空襲の際には駅の裏の防空壕に、防  
空ずきんをかぶって逃げ込みました。幼  
くて戦争ということがわからず、B29の  
ライトが見たくて何度も外に出たこと  
や、敵機が去ったあと、避難した人た  
ちがたき火にあたっていたことを覚  
えています」。英治さんの手のひ

らには、その時のたき火によるやけど  
の跡が残っていて、幼い頃の記憶と重  
なります。

父・盛夫さんは岡山県津山市出身で  
す。太平洋戦争直前の昭和15年、旧陸  
軍の歩兵として、戦地に赴きました。  
昭和20年、ビルマ（現・ミャンマー）  
のトンゲー近郊で帰らぬ人となりました。

残された母と子は、貨物列車に乗っ  
て父の郷里・岡山を目指しました。母



親が胃がいれんを起こし、医者を探  
て知らない町を巡るなど、旅路には不  
安がつきまといました。幼い英治さん  
の記憶はそこで途切れます。「父を亡  
くしてから、どうすればよいか相当  
迷っていたらう」と当時の母の気持  
ちを察します。両親が健在だったこと  
もあり、母のふるさとである鶴川に戻  
りました。母・つぎさんは保育所の給  
食員や農作業の手伝いなどに励み、英  
治さんら2人の子を育てました。

身内にも明かさなかった  
悲しみの記憶

英治さんが父について詳しく知った  
のは、ごく最近のことです。つぎさん  
は夫がどのような人であったか、英治  
さんをはじめ、周囲に話しませんでし

た。英治さんが幼少の頃の記憶を元  
に、当時のことを母に話しても「よく  
覚えていたね」と応じるだけで、自分  
からは語りませんでした。自身が遺族  
会の活動を進めるにあたり「父のこ  
とを知っておかねば」と思う時期もあ  
りましたが、「昔のことを思い出し、母  
がつかくなるだろうから、聞かなか  
つた」と振り返ります。父親の性格や遺  
言なども全くわかりません。

つぎさんが平成16年に亡くなり、遺  
品を整理していたところ、盛夫さんの  
本籍地・岡山県が発行した「死亡告知  
書」や勲記、写真類が出てきました。  
英治さんはその存在すら知らなかった  
ため、驚きました。告知書は下敷きが  
透けて見えるほど薄い紙で、傷んで読  
めなくならないよう、書類のコピーも  
大切に収められていました。

追悼の辞を述べ、御霊に平和を誓う益田さん  
(10月1日・町戦没者追悼式)



唯一の遺品である写真。  
後列右から2人目が父・盛夫さん



写真は戦友らとの集合写真で、唯一の形見です。軍服で佇む父親の姿を見て、自分の顔と似ていると感じました。「いつかミャンマーに遺骨収集に行きたい」と願うようになりました。

母親の苦労がどのようなものだったのか、益田さんは折に触れて思います。2人の子を連れて焼け野原に立つ母親の写真をみると、「私の母もこうだったのかな」と、かつての自分たちの姿と重ねます。

### 遺族会が直面する

#### 会員の高齢化問題

能登町遺族会連合会の会員数は10月現在で401人。戦後すぐに誕生した

子どもも、まもなく70代を迎えます。戦時中のことを覚えていた世代は80、90代とさらに高齢です。

遺族の高齢化は全国の遺族会の共通の悩みです。毎年10月に行われている町の戦没者追悼式では800人以上に案内をしています。実際に参列する遺族は100人程度にとどまります。益田さんは、遺族会の活動が途切れな

いかと不安を感じています。「戦争というものは二度とあってはならないもの。伝え続けるため、本人が参加できない場合は配偶者でもいいから参加してほしい」と切実に願っています。

### 有志によって行われる 各地の慰霊行事

町 主催の戦没者追悼式の他に、各地で有志による追悼行事が続けられています。瑞穂にある「山田郷戦没者慰霊碑」では山田郷慰霊碑保存会主催の慰霊式が行われていて、今年の8月で37回を数えます。保存会の石井良明会長は「戦争を知らない人の方が多い中、風化させてはならない感謝の心を忘れがちなっています」と、慰霊を続けることの大切さを強調しました。



109柱の戦没者が眠る  
山田郷戦没者慰霊碑



8月1日、酷暑の中に行われた柳田地区慰霊式

柳 田保育所の園庭に隣接する柳田地区の忠魂碑は大正時代に建立されました。遺族会の柳田支部が追悼式を行っています。

碑文は日本海海戦の連合艦隊司令長官であった東郷平八郎の揮毫です。柳田保育所のある場所は、柳田小学校の敷地でした。昭和52年発行の「柳田村落誌」には、軍国主義による教育を恐れ、太平洋戦争後に倒されたことが記されています。現在は元の通りに建てられていますが、碑の上部に折れたような跡がくつきりと残っています。

# 異国でつづける

## 望郷の思い

### 捕虜として過ごした

#### 青春の日々

中瀬精一さん(上町)は戦後、シベリアで捕虜生活を送りました。  
教員として能登町立青年学校(現・中能登町立鹿西小学校)勤務の昭和16年の1月に旧陸軍に入隊。七尾から満

州・牡丹江省に渡りました。歩兵としてすごしたのち、下士官になり新京の関東軍司令部作戦班に転属しました。昭和20年8月に敗戦が決まってからまもなく、関東軍司令部の涉外係としてソ連軍司令部の命を受け、物資をシベリアに送る業務に従事させられました。10月いっぱいその作業にあたり、



昭和18年に旅順で撮影した写真。  
後列左端が中瀬さん。

11月中旬に自らもイルクーツクに向けて出発しました。

シベリアに送られる捕虜たちは、「日本海に面するウラジオストクに向かう」「帰還される」と伝えられ、希望をもたせられて連れられました。しかし中瀬さんは司令部にいたため、自らが捕虜としてシベリアに行くことを知っていました。

最初の地はイルクーツクから約30キロ離れた場所での鉄道工事現場でした。捕虜たちの多くは、最初の冬で命を落としましたが、中瀬さんはなんとか乗り越えました。「満州で過ごして体が肥えていたこと、郷里で農業に従事していたため、体が丈夫で粗食に慣れ、労働にも抵抗がないことが良

かった。体の大きな者ほど早くに死にました」と話します。

食事は1日2食。重さ3キロの黒パンを10人で分け、そのほかは塩や砂糖、肉などが一緒に煮込まれたものが出されました。満腹になる量ではありません。翌朝、昼のために支給されたパンに手をつけました。パンを食べずにとっておくと盗まれてしまうという「何とも情けない」状況だったそうです。粗食のため「便をしてもエン麦の殻ばかりで、ころころと兎のフンのようだった」と振り返ります。

ひもじさ、極寒の気候に加え、捕虜を悩ませたのは虫です。夏の山はアブやナンキンムシが容赦なく襲ってきます。シラミも大敵でした。かゆさがす



中瀬精一さん。短歌や俳句は現在も楽しんでいて、活発に創作活動を行っている



京都府舞鶴市「舞鶴引揚記念館」近くに復元されている栈橋。

この場所にたどり着けなかった兵士も多くいた。

さまじいだけではなく、伝染病を媒介するため「シラミがなかったらあんなに人が死ななかつた」と振り返ります。ソ連も戦争の影響を受けました。戦死者が多く出たことから男性が少なく、人口の比率が大きく狂われました。貴重な労働力である捕虜には重いノルマが課せられました。

厳しい捕虜生活を力づけたのは、万葉集や佐藤春夫詩集など、戦地に持ち込んだ歌集・詩集です。歌集の余白に和歌を書き込むなど、創作が生きがいでした。残念ながら帰国の直前、ナホトカでソ連の手により、全て燃やされてしまいました。

昭和23年7月に舞鶴に帰還。ようやく祖国の土を踏むことができました。「海外では耳にできなかった、下駄の音が忘れられない」「金髪ではなく、黒髪の女性がエキゾチックに見えた」



戦後の中瀬さん一家

など、さまざまなが記憶に残っています。

なにより感激したのは畳と柿の青い実。夏の風景でした。「在所の子どもの祭り笛を聞いたときには体が震えた。ああいう感激は普通の人生では味わえないものです」。

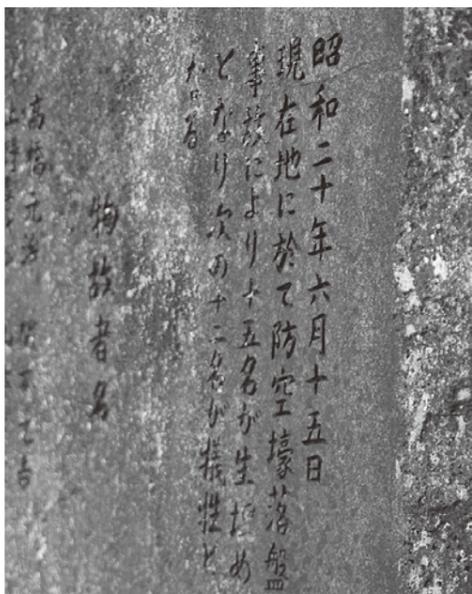
舞鶴上陸後に800円を渡されました。教員としての初任給が18円だったため、一時は大金をもらったと思ったのですが「店先に並んでいたピワが一皿50円以上上げていて驚きました」。シベリア抑留の間にさまざまなことが変化していました。

帰国の翌月に結婚、3人の子に恵まれました。能登に帰ってきてからは農業に従事し、現在も家業として能登牛の生産、肥育を行っています。話を伺った日は牛の市があり、「7頭の牛を出荷した」と話しました。農業について話す顔は喜び、明るい表情でした。

捕虜時代の体験を次代につなぐため、復員してすぐ、記憶していた短歌や詩をノートに記しました。これを元に作った歌集「シベリアの歌」には過酷な生活の記録、青春時代の心情がつけられています。

「シベリアで命を拾ってきた」と話す中瀬さん。その言葉からは、平和のありがたみがにじみ出ています。

# 終戦直前に訪れた悲劇 防空壕落盤事故



## 脳裏に焼き付いている 変わり果てた父の姿

戦争による悲劇は、戦場にとどまらず、街中でも起きました。昭和20年6月15日、宇出津の桜町で進められていた、防空壕の造営作業中に落盤事故が発生。15人が生き埋めとなり、うち12人が亡くなる大惨事が発生しました。

この事故で父親を亡くした関本満喜子さん。宇出津は、「当時のことは絶対に忘れられない」と話します。父親の乙吉さんは満州などで軍隊生活を送りました。終戦前年の昭和19年12月に一時帰国し、能登にいました。防空壕を作る場所について「土が軟らかい場所だから危ない」と言っていたそうです。

戦時中、大人たちは常に働いていたため、幼い関本さんは父親の顔を覚えていません。ただ、その仕草は目に焼き付いています。事故の日の朝、酒を一杯あおってから出かけた姿、そして土から掘り出され、戸板にのせられた、泥だらけの姿は今でもはっきりと思い出されます。

事故は正午ごろに発生したとみられます。父親は一番奥で作業していて、助け出されたのは、すっかり暗くなつてからでした。12人が死亡した大事故ですが、戦時中ということもあり報道はされませんでした。

## 70年経った今も続く 戦争の悲しみ

戦後の暮らしは苦労の連続でした。戦没者遺族ではないため、補償から漏れています。子守りをしてその駄賃でノートや鉛筆を買ったり、親と一緒に出かけて色んな仕事を覚えたりして過ごしました。関本さんは「勉強をしろ」と言われたことはありませんでした」と振り返ります。

同級生の中には、戦地で親を亡くした人もいました。その同級生たちは6年生の時に靖国神社に行く機会があり

ましたが、関本さんは行けませんでしたが、戦地にも赴き、戦争のために働いて亡くなったのは同じなのに、扱いが異なり複雑な気持ちでした。平成6年、桜町の落盤事故を風化させないよう、有志が寄付金などで現在の地に慰霊碑を建立。小さな公園が整備され、桜の木も植えられました。6月15日には70回忌の法要が行われました。遺族も70代になり、高台にある慰霊碑に行けない人もいます。



慰霊碑は常椿寺に隣接する高台に建てられていて、宇出津の町を見守っている。





関本満喜子さん

多くの子どもと関わった関本さん。「子どもはすばらしい宝物。何よりも勇気を与えてくれます」と話します。

関本さんは小学生の頃、学校をほとんど休みませんでした。皆勤賞が誇りだっただけではなく、「仲間と一緒に遊ぶのが最高だった」からです。だから、はじめには

## 子どもたちに託す 平和への願い

長い時間を経た今も、慰霊碑の前に立つと事故のことを思い出します。「父がこの下に埋まったのかと、胸がいっぱいになります」。慰霊碑建立から毎年、宇出津小学校児童が千羽鶴を折り、命日に合わせて慰霊行事を行っています。ことしで20回を数えました。「私たち遺族がやらなければならない折り鶴づくりを、子どもたちが真心込めてしてくれます。胸がいっぱいになります」。慰霊祭の当日も感激のあまり、感謝の言葉を出そうにも、声につまり上手く伝えられないそうです。保育士として35年にわたり従事し、

心を痛めています。「はじめは小さな戦争で、とんでもない結果を生むこともあります。親に心配をかけないように、はじめに遭っていることを話さないでいる様子は本当に痛ましいです。先生や親など上から言われるのではなく、子どもたち同士が手をさしのべあって、はじめのない学校にしてほしい」と訴えます。「大人になってからの人生はすばらしいものです。はじめによる自殺などは絶対にあってはほいけません」。

「戦争という文字からは喜びは生まれません。『ありがとう』おかげさま」という言葉で広がる、横のつながりが大切です。常に覚えておいてほしいです」と児童たちの成長に期待を寄せました。

# 自分が住む町の 戦争体験を伝える

宇出津小学校児童会は10月、北國新聞社の「北國あすなる賞」を受賞しました。この賞は、善行や奉仕活動を続け、長い間地域に貢献した児童・生徒に贈られるものです。桜町防空壕の慰霊行事を20年間続けていることが評価されました。



平和集会で発表を聞く児童たち



慰霊行事に加えて、児童はことし、防空壕落盤事故の犠牲者遺族である関本さんにインタビューを実施。戦争によって、身近な宇出津の町にどのような影響があったのかを探りました。インタビューや調査でわかったことは、夏休みの8月6日、登校日に行われた全校参加の平和集会で発表されました。児童会の委員会ごとに、当時の衣服や食べ物など、日常生活について調査しました。配給制度のことや食べるものが少なかったことなど、戦時中の暮らしを学びました。

児童らの祖父母の多くは、戦争を体験していない世代です。家族同士で体験を語り継ぐことが難しくなりました。関本さんの平和への思いを聞き、いろいろなことを感じて成長した児童たちに、大きな期待が寄せられます。

行事に参加した児童は、活動を通じて学んだことについて、感想を話してくれました。関本さんの証言をはじめ、戦争の悲惨さを心に刻んだようです。

防空壕を作る作業をしていた人に、女の人や妊婦さんが含まれていたという話が意外でした。

—岩本麻里さん（6年生）  
いろいろな大変なことがあったことを聞いたから、もう戦争はしてほしくない。

—新谷彩音さん（6年生）  
いまは戦争がなく、心配なく生きることができて、本当にありがたいと思います。

—松村尚くん（5年生）  
宇出津小学校の人には、これからも千羽鶴の活動を続けてほしいです。

—寺下愛美さん（6年生）

## 今こそ求められる

### 「平和を語り継ぐこと」

バブル経済崩壊後の日本は「失われた20年」と言われ、景気の低迷に見舞われました。就職難や地方経済の疲弊など、若い世代にとって非常につらい時代が続いています。そんな中「戦争をすれば景気が回復するのではないか」という意見が書籍やネット上でみられました。このことを関本満喜子さんに伝えたところ「とんでもない話です。言葉の重みというものが全くわかっていません」と答えました。

関本さんの「満喜子」の字は、誕生した時に満州に出征していた父に、喜びを伝える、という意味をもって名づけられたそうです。戦争は親がいて、子がいる、そんな人間同士が殺し合う悲しいものです。

太平洋戦争は8月15日に終わったわけではなく、遺族にとっては現在も続いている、消えることのない悲しみです。戦後という言葉は遺族にはありません。70年という歳月を経ても消えない悲しみがあります。平和への誓いを次代に伝えていくよう、努力を続けていかなければなりません。



「北國あすなる賞」の賞状を手に笑顔を見せる児童会運営委員

首都圏能登町会の前田さん  
**ふるさと納税で町を応援**

能登町出身で東京在住の前田志朗さんは11月10日、役場能都庁舎を訪れ、生まれ故郷の活性化に期待を寄せ「ふるさと能登町応援寄附」を高雅彦副町長に手渡しました。

前田さんは、平成6年首都圏在住の旧能都町出身者に呼びかけて「首都圏能都町会」を結成。10年にわたって会長職を務め、「首都圏能登町会」となった現在は名誉会長として活躍しています。



高副町長に寄付金を手渡す前田さん（中央）

里山里海マイスター育成プログラム  
**3期生入講 金大能登学舎**

金沢大学などによる「能登里山里海マイスター」育成プログラムの第3期生入講式は10月11日、金大能登学舎で行われ、受講生24人と聴講生3人が学びの意欲を新たにしました。山崎光悦学長が式辞、フィリピン・イフガオ州大のセラフィン・ゴハヨン学長らが祝辞を述べました。能登町関係者は次のとおり。

■垣内麻美さん、城拓也さん、丸谷佳代さん、平鉢友行さん、向光子さん



入講式で名前を読み上げられ起立する3期生

合鹿椀や染め物、布バッグなど300店が部屋と庭園を彩った



天領庄屋「中谷家」で初の展覧会  
**能登文化の発信拠点に**

黒川にある県有形文化財、天領庄屋「中谷家」の活用を目指す有志は10月11～19日の間、活用策の第1弾として能登の5人の作家による「能登・ものづくり展」を開きました。

中谷家は江戸時代初期から末期の建築です。当主の中谷直之さんは、中谷家がかつて地域の文化振興を支えたとされることにちなんで、地元の工芸家・大宮静時さんに作品展開催を提案し、実現しました。

(株)ヤマト・笹野好伸さん（右）の説明を聞く参加者



商工業者有志らのグループ  
**ツアーで奥能登の食材紹介**

町内の商工業者有志でつくるグループ「能登ライジングパートナー」は10月28日、首都圏などの飲食業関係者に奥能登の魅力を伝える「能登の食材探訪ツアー」を1泊2日の日程で実施しました。

東京のレストラン経営者やフードアナリストの雅珠香さんら14人が参加。能登牛のしゃぶしゃぶステーキや能登杜氏のお酒を味わい、(株)ヤマトではいしりを使った一夜干しなどについて説明を受けました。

久田船長碑前祭  
**地元の誇り 船長の行動をたたえる**

久田船長碑前祭は事故発生の日である10月29日、鶴川の菅原神社横の久田船長碑前で行われました。鶴川出身の久田佐助船長は明治36年、青函連絡船の船長として乗務中、貨物船の衝突を受けました。乗客や他船舶のため汽笛を鳴らし続け、船と運命を共にしました。

久田船長の責任感ある行動は、国語の教科書や唱歌となり語り継がれています。鶴川小学校5年生の馬場裕作さんと寺谷小町さんが教科書を朗読しました。

▼出席者全員で唱歌「久田船長」を歌った



碑の前で、小学国語読本を朗読する児童



ま  
ち  
の  
出  
来  
事

鶴川公民館「ハロウィン」  
**晩秋の夕にかわいい訪問者**

鶴川公民館で10月31日、ハロウィンがあり、幼児から中学生までの子どもたちが仮装して家々を巡り、お菓子をもらいました。

午後5時からの最初のグループは幼児中心のメンバーです。変装した保護者らとともに民家や商店を訪ね「トリック・オア・トリート」の合言葉を唱え、お菓子をおねだりしました。家の人は小さな訪問者に目を細め、お菓子を手渡していました。



オバケやアニメのキャラクターに仮装し、記念撮影する参加者

法被姿で参加を呼びかける春蘭の里実行委員会メンバー



地域づくり研修会三重大会  
**能登町の分科会へ参加呼びかけ**

第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会に参加した町内の地域づくり団体関係者は11月8日、次期開催地からのお知らせの中で、能登町の分科会への参加を呼びかけました。来年の研修交流会は8月29日から3日間、石川県で行われ、町では「春蘭の里実行委員会」とNPO「のとキリシマツツジの郷」が分科会を開催します。関係者は揃いの衣装でステージに立ち各分科会をPRしました。

12月14日(日)は

衆議院議員総選挙  
最高裁判所裁判官国民審査

の投票日です。



(執行予定)

◆投票時間 午前7時～午後8時  
ただし、一部投票区は午後7時まで

◆有権者

平成6年12月15日までに生まれた人で、平成26年9月1日までに能登町に住民登録を行い、引き続き3カ月以上能登町に住所を有している人

◆入場整理券について

入場整理券は住民登録がある住所へ送付されます。住民登録と現住所が異なっている人は、入場券が届かない場合があります。なお、入場券がなくても、選挙人名簿に登録され、当日選挙権があれば投票できます。

◆不在者投票について

選挙人名簿に登録されている人で、現在出稼ぎなどで能登町以外に在住している人は、不在者投票をすることが

議 会

平成 26 年  
能登町議会 11 月会議

議 議

会議員選挙後初となる会議が11月10日に開かれました。通年議会議制度導入後初の会議です。議長選挙などが行われ、議長には鍛冶谷眞一氏が、副議長には河田信彰氏がそれぞれ選ばれました。



河田信彰 副議長



鍛冶谷眞一 議長

できません。該当する人は、事前に宣誓書(請求書)を取り寄せ、必要事項を記入して選挙管理委員会へ郵送してください。請求のあった現住所へ投票用紙や不在者投票用封筒などを送付します。

◆期日前投票を利用しましょう

投票日に仕事やレジャー、冠婚葬祭などで投票所に行けない人は、期日前投票ができますので、ご利用ください。最高裁判所裁判官国民審査は7日から投票できます。

期日前投票ができる投票所の場所と時間は左表のとおりです。

期間	投票所名	投票時間
12月3日(※)～13日(※)	能都社会福祉会館 1階集会室	午前8時30分～午後8時
12月7日(日)～13日(※)	柳田庁舎 1階事務室	午前8時30分～午後7時
	内浦福祉センター 1階集会場	
12月12日(金)～13日(※)	町立鶴川公民館 図書室	午前8時30分～午後7時
	小木地区活性化センター ロビー	

当日の投票所と投票時間

投票区	投票所	閉鎖時間
第1	能都社会福祉会館 1階集会室	午後8時
第2	町立宇出津小学校 1階ロビー	午後8時
第3	町立ひばり保育所 遊戯室	午後8時
第4	町立三波公民館 集会室	午後7時
第5	矢波地区集会所	午後7時
第6	町立神野公民館 ホール	午後8時
第7	町立鶴川公民館 図書室	午後8時
第8	町立瑞穂公民館 和室	午後8時
第9	宮地生活改善センター 集会室	午後7時
第10	野田コミュニティセンター	午後8時
第11	町立小間生公民館 会議室	午後7時
第12	上町地区生活改善センター 和室	午後8時
第13	町立岩井戸公民館 会議室	午後7時
第14	当目地区多目的研修集会センター	午後7時
第15	斉和多目的集会所	午後7時
第16	内浦福祉センター 1階集会場	午後8時
第17	上区集会場	午後7時
第18	町立不動寺公民館 集会室	午後7時
第19	町立秋吉公民館 集会室	午後7時
第20	白丸コミュニティ施設 多目的交流ホール	午後8時
第21	能登勤労者プラザ 体育館	午後7時
第22	小木地区活性化センター ロビー	午後8時
第23	町立高倉保育所 遊戯室	午後8時
第24	小浦地区集会所	午後7時

入場券は12月6日に発送予定です。

裏面が期日前投票の「宣誓書」になっています。期日前投票を行う場合はあらかじめ氏名などを記入してお持ちください。



この部分は全て記載ください

住所欄は宛名と異なる場合のみ記載

▼入場券裏面

【投票日当日に投票される方は記入不要です】  
期日前投票宣誓書(兼請求書)

私は、衆議院議員総選挙の当日、次の事由に該当する見込みです。最高裁判所裁判官国民審査ですので期日前投票をたく、以下の記載が実であることを誓い、投票用紙を請求します。  
※最高裁判所裁判官国民審査は、12月7日(日)からです。

氏名	生年	明・大・昭・平
月日	年	月 日
住所	該当する番号だけを○で囲んでください。	
1	選挙、学業、地域行事の役員、本人又は親族、その他( )に就任	
2	投票区域外への：旅行、外出、滞在	
3	病気、出産、負傷などのため歩行困難	
5	住所移動のため他の市町村に居住	

○で囲んでください

消費生活トラブル対策

強引な電話勧誘にご注意!

知らない事業者から突然電話で「アンケートに答えてくれないか」「新しい商品の紹介です」「パンフレットが届いていないか?届いた人しか買えないので代わりに買ってくれないか」等、言葉巧みに契約を勧められます。断っても何回もかかってくる、暴力的な言葉を吐かれたりして恐怖を感じるようなケースもあります。

被害にあわないために

・勧誘されても必要なければ「いりません」「興味はありません」「もう電話をかけないでください」といった言葉ではっきりと断りましょう。業者名や連絡先を確認しておくことも大切です。

・事業者のうまい話をそのまま信じてはいけません。いったん電話を切って家族や知人に相談し、自分でも調べてみるなどの時間的な余裕を持ちましょう。

【事例】  
「注文のあった健康食品を代金引換で送る」と電話があった。「注文した覚えはない」と伝えると「確かに注文している。代金は2万円。支払わないと訴える」と脅された。  
経済的にゆとりがないので、そんな高い健康食品を注文するはずがないのに、翌日業者が言ったとおり商品が届いてしまった。

消費者が承諾していないにもかかわらず一方的に商品が送りつけられた場合には、代金の支払い義務はなく、受け取る必要もありません。

一人で悩まず、必ず相談しましょう!  
【相談先】 ふるさと振興課 ☎62-8532  
奥能登消費生活相談室 ☎0768-26-2307  
県消費生活支援センター ☎076-267-6110  
消費者ホットライン ☎0570-064-370

年末年始の休診期間：12月27日(土)～1月4日(日)

ただし、救急の場合はいつでも受付します。

■糖尿病・内分泌外来診療日のご案内

糖尿病のコントロール・治療が必要と判断された人、高脂血症などの人を対象に専門医が精密検査や治療を行います。内科外来までお越しください。

診察：太田医師 12月の診療日：8日(日)、22日(日)

■外科外来増築工事に伴うお願い

1階の外科外来で増築工事を実施しているため、外科で行う点滴などの処置を、2階の別室で実施しています。患者さまには大変ご迷惑をおかけしておりますが、引き続きご協力をお願いいたします。

地域の安心に貢献できるように 宇出津総合病院で有事を想定した訓練実施

トリアージ訓練

11月17日、トリアージ訓練を実施しました。トリアージとは、災害・事故現場などで、一時に大勢の負傷者が発生した際に、重傷度によって治療の順番を決めることをいいます。

町内のトンネルで乗用車とマイクロバスが正面衝突する事故が発生、負傷者十数名を受け入れるという想定で行われました。

負傷者に扮した職員をストレッチャーや車いすに乗せ、医師の診断、看護師による処置、レントゲン撮影や採血検査受付、診療行為の記録など、実際に災害した場合の行動を確認しながら訓練にあたりました。

初めての試みとあって、参加した約80人の職員には戸惑いも見られましたが、スムーズな対応ができました。



今年2回目の防災訓練実施



能登半島沖で大規模地震が発生し、大津波警報が発令されたという想定で10月22日、今年2回目となる院内防災訓練が開かれ、職員約80人が参加しました。

職員は担架を使った病棟入院患者の搬送、消火器の取り扱い体験、重要書類の持ち出しなどを行いました。

訓練後の講評で滝川豊院長は「能登町は災害が少なく住みよい所ですが、広島や御嶽山のように、いつどこで災害が発生するかわかりません。いつ起きても対応できるように日ごろからの備えが大切です」と述べ、職員に日ごろから備えるよう促しました。



スポーツ通じて生涯を通じた健康づくり



持木町長と握手する井高さん

県生涯スポーツ功労者表彰  
井高さんが喜びの受賞報告

上の井高吉孝さんが11月4日、いしかわ教育功労者として知事表彰を受けました。5日に役場能都庁舎を訪れ、持木町長に受賞を報告しました。

井高さんは「皆さんのおかげで受賞できました。今後も人のために活躍したい」と述べました。

井高さんは町陸上競技協会として50年近く審判や組織の運営に尽力しました。県の陸上競技協会の役員として県内の陸上競技発展にも携わりました。

選手としても活躍し、地元代表として国内外の大会に参加。北信越大会で入賞するなど成績を残しました。マスターズ大会にも参加を続けています。

来年の1月で85歳を迎える井高さん。「健康のために体を鍛え、皆さんと一緒に楽しみたい」と今後の活動に意欲を見せました。

ゲートボール中部ブロック大会出場  
鵜川チームのメンバーが決意を表明

第26回中部日本ゲートボール選手権大会出場を決めた鵜川チームのメンバー5人が7日、役場能都庁舎を訪れ持木町長に決意を述べました。

代表してあいさつした石田正榮さんは「出場が決まってから喜びと不安でいっぱいです。当日は強気で、魂を込めて後悔のない試合をしたい」と決意を述べました。

大会は11月20、21日に小松市で開催され、中部9県の代表が実力を競いました。



大会のために新調したユニフォーム姿で決意を述べる出場メンバー

大会結果

第12回県小学生学年別ソフトテニスインドア大会 (11/9 能都健民テニスコート)

〈5年女子の部〉

③本谷奏音(宇出津小5年)・道下愛菜(同4年) ペア

〈4年男子の部〉

①牧海音(鵜川小4年)・宮下武輝(同4年) ペア

第1回県小学生ソフトテニスインドアシングルス大会 (11/9 能都健民テニスコート)

〈6年女子の部〉②濱中彩花(宇出津小6年)

第29回山田杯争奪ソフトテニス選手権大会 (10/26 能都健民テニスコート)

①高山泰英(兼六クラブ)・米澤要(能登高校) ペア

②川端光明(北陸電力石川)・寺下将司(兼六クラブ) ペア

③高宮真(能登高校)・山本貴大(同) ペア

## 除雪の要望はまず区長さんへ 冬季の除雪作業にご協力下さい

町道は国・県道に比べると幅員が狭く、除雪機が入れない道路があるなど、完全な除雪ができないことがあります。除雪が順調に進むように、次のことに注意してください。



- ①自動車の路上駐車、路上放置は絶対にしないでください。
- ②除雪機の前後に飛び出したり、進行の妨げにならないようにしてください。
- ③屋根雪や住宅前の除雪は各自で行ってください。
- ④狭い路地などは、町内のみんなで除雪してください。
- ⑤道路、特に通学路・歩道に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めてください。
- ⑥各町内にある消火栓・防火水槽・ごみ収集箱付近の除雪は、町内みんなで行ってください。
- ⑦除雪に際して、やむなく民地へ雪を押し出す場合もありますが、ご容認ください。
- ⑧降雪により通行の支障となる道路法面の雑木については、所有者で伐採をお願いします。
- ⑨除雪に関する問題については、まず区長・町会長までご相談ください。

☎建設課 (76) 8304



### お知らせ 平成26年工業統計調査にご協力ください

この統計調査は、国内の工業の実態を明らかにすることを目的として、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、平成26年12月31日時点で実施します。

12月に調査員が対象事業所を訪問し、調査票を配布しますので、事業者の方は調査が円滑に進むようにご協力をお願いします。



工業統計キャラクター  
コウちゃん

☎企画財政課 (62) 8503

#### 募集

#### 町営住宅入居者

■募集期間：12月15日(月)まで  
■対象住宅  
城野住宅 5号棟11号・3DK  
住所：宇出津山分5字26番地  
家賃月額  
15,400円(22,900円)

桜木住宅  
住所：鶴川30字1番地  
家賃月額  
1号棟131号、2DK  
16,300円(24,300円)  
2号棟221号、2DK  
16,400円(24,400円)  
※金額は所得に応じて変動。  
たなぎ団地 1号棟301号・3LDK  
住所：宇出津イ字9番地1  
家賃月額 53,000円

■敷金 家賃の3カ月分  
■入居資格  
①町に住所を有する人(予定者を含む)  
②住宅に困窮していることが明らかな人  
③町税などの滞納がない人  
④入居者の所得が158,000円以下(城野・桜木)、158,000円以上(たなぎ)である人  
⑤単身よりも複数世帯を優先  
☎建設課住宅係 (76) 8304

町では、平成28年度から10年間のまちづくりの指針となる「能登町第二次総合計画」の策定作業を進めています。この計画の策定にあたり、まちづく

### お知らせ 能登町第二次総合計画 アンケートにご協力を

町では、平成28年度から10年間のまちづくりの指針となる「能登町第二次総合計画」の策定作業を進めています。この計画の策定にあたり、まちづく

## 冬のライフライン「雪道ネットワーク」

雪道ネットワークとは、突発的な大雪時でも、幹線道路や救急告示病院・消防署へのアクセス道路を守るため、国、県、市町が協力して優先的に除雪する路線のことです。

詳しくは、除雪に関する県のホームページまたは役場や県土木事務所等においてある配布用チラシをご覧ください。

石川の雪みちなび <http://www.pref.ishikawa.jp/michi/yuki.htm>

### 年末年始のごみ収集・受け入れ等の営業について

☎環境対策課 62-8507

		26日(金)	27日(土)	28日(日)	29日(月)	30日(火)	31日(水)	1日(木)~3日(土)	4日(日)	5日(月)
ごみ収集	能都地区	収集カレンダーのとおり						×	収集カレンダーのとおり	
	柳田地区									
	内浦地区									
奥能登クリーンセンター ☎62-8222		○	○	×	○	○	×	×	○	○
能都埋立処分場 ☎62-3362		○	○	×	○	○	×	×	○	○
し尿収集 (のとクリーンサービス)		○	×	×	×	×	×	×	○	○

○：受け入れ (8:30~16:30) ×：休業 ※能登三郷斎場は1月1日のみ休みです。

#### お知らせ

#### 予約制乗合タクシーは 事前の会員登録が必要です

予約制乗合タクシーは宇出津地区を除く町内全域を6つのエリアに分け、自宅付近から宇出津方面に向かう「おでかけ便」と、宇出津総合病院発の「おかえり便」が1日各2便運行されています。利用には事前に無料の会員登録が必要です。新規会員登録は企画財政課で

☎企画財政課 (62) 8503



受け付けています。

#### ■会員になれる人

能登町民で、1人で乗り降りできる人(付き添いがあれば乗れる人も含まれますが、車いすの利用はできません)

#### ■料金

2人以上の場合  
1人あたり1,200円  
1人乗車の場合  
乗車距離に応じて1,200円、1,500円、2,000円の3段階

#### ■連絡先

新規会員登録  
役場企画財政課 (62) 8503  
登録後の乗車予約  
宇出津総合病院処方せん窓口  
☎(62) 1316  
☎企画財政課 (62) 8503

## 平成 27 年度から軽自動車税額が変わります

地方税法の改正により、平成27年度から軽自動車税の税率が変更されます。原動機付自転車や二輪車等(農耕作業車・フォークリフト・小型特殊車両含む)は、新車・中古車の区別なく一律に税率が引き上げられます。



### 原動機付自転車および二輪車等の税率対比表

車両区分	車種区分		旧税率	新税率
	排気量	定格出力	平成 26 年度以前	平成 27 年度以後
原動機付自転車	50cc 以下	0.6kw 以下	1,000 円	2,000 円
	50cc超 90cc以下	0.6 kw 超 0.8 kw 以下	1,200 円	2,000 円
	90cc超 125cc以下	0.8 kw 超	1,600 円	2,400 円
	ミニカー 20cc超	0.25kw 超	2,500 円	3,700 円
軽二輪	125cc超 ~ 250cc以下		2,400 円	3,600 円
二輪の小型自動車	250cc 超		4,000 円	6,000 円
小型特殊自動車	農耕作業用のもの		1,600 円	2,400 円
	その他のもの		4,700 円	5,900 円
専ら雪上を走行するもの			2,400 円	3,600 円

四輪以上や三輪の自動車については、平成 27 年 3 月 31 日までに新規登録した車両や今まで所有していた中古車は従来の税率のままですが、平成 27 年 4 月 1 日以降に新規登録した車両については新税率での課税になります。

平成 28 年度からは、新規登録されたときから 13 年を経過した車両について重課税率が適用されます。



### 四輪以上および三輪の軽自動車の税率対比表

車種区分	税率 (年税額)					
		新規検査年月日				
		平成 27 年 3 月 31 日以前	平成 27 年 4 月 1 日以降	新規検査より 13 年超		
軽自動車	三輪	軽三輪		3,100 円	3,900 円	4,600 円
		四輪以上	乗用	自家用	7,200 円	10,800 円
	営業用			5,500 円	6,900 円	8,200 円
	貨物		自家用	4,000 円	5,000 円	6,000 円
		営業用	3,000 円	3,800 円	4,500 円	

現在使用してなく、今後も使う予定のない車両については、早めに廃車手続きをお願いします。廃車の手続きが済んでいないと、車体自体がなくても課税されることがありますのでご注意ください。

税務課 ☎ 62-8505

募集

### 能登産業技術専門学校が あなたの再就職を支援

能登産業技術専門学校は、離職・転職者等に就労を絞り、円滑な再就職の促進と入校機会の増やすため、訓練期間を短期間に設定しています。

造園家など能登地域の雇用事情に配慮した科目設定を行って、地域活性化のキーステーションとして人材の育成を図ります。

入校希望者は、お近くのハローワークで応募してください。



■訓練期間 6 カ月

前期：4 月～9 月、後期：10 月～3 月

■学科

建築科

建築用機械、器具の取り扱いのほか、小規模建築物の施工および修繕に必要な知識と技術を習得できます。

在校中に 3 級技能検定、修了後に 2 級技能検定を受験可能です。

○A 科

情報処理機器の基本的な取り扱い技能および一般事務等の知識と技能を習



得します。

情報ビジネス科

簿記会計の基本的処理能力および一般事務等の知識、ならびに O A 機器の基本的な取り扱い等の知識と技能を習得します。

造園科

造園用機械、器具の取り扱いができると共に、植栽の配置、植え付け、移植および剪定、四つ目垣の作成、庭石の据え付け等の基本的な技能や関連知識について訓練します。総合的施工管理作業を通じて、建設業および造園業の中堅技術者として活躍できる人材を育成します。

修了時に玉掛作業技能講習修了資格を取得可能。2 級技能検定を受験でき、在校中も 3 級技能検定の受験資格を得ます。後期在校中には小型移動式クレーン運転技能講習修了資格を取得できます。

能登立能登産業技術専門学校

☎ (72) 0184

### ふたご座流星群観望会

今年のふたご座流星群は好条件。一緒に流れ星を楽しみましょう。

日時 12 月 13 日⑤、14 日⑥  
19:00 ~ 21:00

場所 星の観察館「満天星」  
※予約不要、参加費無料  
防寒対策を万全に！

### クリスマス アカペラコンサート

in プラネタリウム

日時 12 月 23 日⑦ 15:30 ~ 16:30  
場所 「満天星」プラネタリウム  
出演 金沢大学アカペラサークル MeloMelo  
参加費 大人 500 円、小中学生 300 円  
幼児無料  
定員 先着 100 人、予約不要

星の観察館「満天星」  
☎ 76-0101



宇宙の人気者  
まんてん仮面

満天星へのお誘い

ニュース  
能登消防署の移転を提言

10月28日、能登町の消防体制のあり方を考える「能登町消防庁舎検討委員会」(酒屋利信会長)から提言書が提出されました。持木町長は「この提言を真摯に受け止め、しっかりと検討し、平成28年4月に開始される消防・救急無線デジタル化に合わせた整備を進めていきたい」と話しました。

現在の能登消防署が津波浸水想定区域内にあることから、今後の消防体制のあり方について、町が検討委員会に意見を求めたものです。町民の安心・安全を守るという見地から、特に、救急体制の現状維持に努めることが最も重視されました。



持木町長に提言書を手渡す酒屋会長 (左)

提言書の要点

- ・現在の能登消防署は、津波浸水想定区域内にあり、また耐震基準を満たしていないため、移転することが必要。
- ・町のほぼ中央に位置し、主要幹線との交通アクセスがよいこと、まとまった町有地であることから、旧上町小学校跡地に能登消防署を新設する。その際、柳田分署は廃止する。
- ・宇出津地内に分署を新設する。宇出津地内の分署には、現在の救急体制を維持するため、救急車2台を配置する。
- ・既存の内浦分署を残し、現在と同等の1署2分署体制を維持する。

☎ 総務課危機管理室  
☎ (62) 8510

ニュース  
火遊びは絶対にしません  
幼年消防クラブがパレード

松波、小木の両保育園には「幼年消防クラブ」が結成されています。毎年11月の秋季火災予防運動にあわせてパレードを行い、火の用心を呼びかけています。

松波保育園では11月10日、園児約40人が法被やはんてんをまとい、松波分団のポンプ車を先頭に、拍子木を打ちながら役場内浦庁舎までパレードしま



松波保育園を出発する園児たち

した。小木保育園では翌11日に実施され、約1・5キロの道のりを、30人の園児が防火を呼びかけながら歩きました。

園児たちは「火遊びは絶対にしません」と固く約束していました。

お知らせ

住宅火災から命を守る  
七つのポイント

住宅火災は財産や命を脅かす恐ろしい災害です。

住宅火災防止のために日ごろから「3つの習慣・4つの対策」を心がけましょう。

3つの習慣

- ・寝たばこは絶対やめる。
- ・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災報知器を設置する。
- ・寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ・火災を小さなうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する
- ・お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力態勢を作る。



拍子木を鳴らし、海辺を歩く小木保育園園児

募集  
のと鉄道乗車体験の  
運賃を助成します

のと鉄道利用促進協議会では、8人以上の児童・園児と引率者による乗車体験に助成を行っています。

対象者

・七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町在住の小学生以下の児童、園児  
・児童を引率する教師、保護者

助成金額

乗車した区間運賃の全額(片道の限度額・小人420円、大人830円)

対象区間

のと鉄道運行区間内(穴水駅～七尾駅)

申請方法

①券売機で乗車券を購入して乗車を体験  
②申請用紙に必要事項を記入・押印し、体験者名簿(学校名、氏名、学年)を添えてのと鉄道株式会社へ申請  
③後日指定の口座に助成金を振り込み申請書

様式はのと鉄道ホームページからダウンロードするか、のと鉄道利用促進協議会(穴水町役場政策調整課)でお渡しします。

☎のと鉄道利用促進協議会

☎0768(52)3625

入札結果

10月16日～11月15日

契約金額500万円以上の入札結果です。

全入札結果は町ホームページに掲載しています。 ☎監理課☎62-8504

件名	場所	担当課	契約額	落札者
平成26年度 柳田地区 簡易水道再編推進事業 国重配水池 機械設備工事	国重・合鹿	上下水道課	27,232,200円	(株)柿本商会
平成26年度 能登町特定環境保全公共下水道事業(恋路処理区) 恋路浄化センター 機械電気設備 実施設計業務	恋路	上下水道課	6,080,400円	(株)中央設計技術研究所
平成26年度 柳田地区 簡易水道再編推進事業 配水管布設工事(久田地内) 3工区	久田	上下水道課	8,748,000円	(有)干場重機建設
平成26年度 ライフライン機能強化等事業 送配水管布設替工事(7工区)	清真～秋吉	上下水道課	21,816,000円	(株)西中建設
平成26年度 ライフライン機能強化等事業 送配水管布設替工事(8工区)	清真	上下水道課	21,729,600円	梶設備(株)
平成26年度 ライフライン機能強化等事業 送配水管布設替工事(9工区)	秋吉	上下水道課	15,152,400円	(株)西中建設
平成26年度 社会資本整備総合交付金事業(住宅・建築物耐震改修) 柳田山村開発センター 耐震改修工事	柳田	農林水産課	19,710,000円	北能産業(株)
平成26年度 ライフライン機能強化等事業 送配水管布設替工事(10工区)	不動寺	上下水道課	21,027,600円	(有)和光建設
平成26年度 社会資本整備総合交付金事業 町道鶴川23号線 道路改良工事	鶴川	建設課	13,564,800円	(株)蔦土木

町有の土地を  
申込み先着順で売却しています

物件の位置

- ・能登町字姫(上野台地) 9区画
- ・能登町字小木(町営住宅跡地ほか) 6区画
- ・能登町字石井(保育所跡地) 1区画

物件の詳細については、町ホームページまたは監理課までお問い合わせください。

☎監理課☎62-8504



【能登町役場】☎62-1000(代)

■能都庁舎 (FAX62-4506)

〒 927-0492
宇出津新1字197番地1
総務課☎62-8510
企画財政課☎62-8503
監理課☎62-8504
税務課☎62-8505
環境対策課☎62-8507
町民課☎62-8500
能都サービス室
☎62-8500
ふるさと振興課
☎62-8532
会計課☎62-8509

■柳田庁舎 (FAX76-0039)

〒 928-0392
柳田仁部54番地
広報情報推進課
☎76-8301
農林水産課☎76-8302
柳田サービス室
☎76-8300
農業委員会☎76-8303
建設課☎76-8304

■内浦庁舎 (FAX72-2108)

〒 927-0692
松波13字75番地
健康福祉課
(児童保育)☎72-2512
(医療介護)☎72-2502
(福祉庶務)☎72-2503
(健康推進)☎72-2504
(包括支援)☎72-2513
内浦サービス室
☎72-2500
上下水道課☎72-2507
教育委員会事務局
☎72-2509

■議会庁舎

〒 928-0312
上町8字485番地
議会事務局☎76-8310

今月の納期 12月25日\*

Table with columns for tax types (e.g., 税・料金, 軽自動車税) and months (4月 to 3月). 12月 is highlighted with a star.

農業者の生活がっちりサポート
農業者年金にご加入を

あなたの老後生活への備えは十分ですか？
年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。老後の備えは
国民年金プラス農業者年金が基本です。

☎農業委員会事務局☎ 76-8303

■加入資格

60歳未満で、保険料納付免除を受けていない国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する農業者

■農業者年金のメリット

・少子高齢化に強い年金
農業者年金は、自ら納めた保険料と運用益を積み立てています。加入者の減少や受給者の増加などがあっても、財政的な安定は損なわれない、少子高齢化時代にあった安心できる年金制度です。

・年金は生涯支給(80歳までの保証つき)

原則65歳になれば年金は生涯支給されます。仮に80歳前に亡くなった場合でも、農業者老齢年金を、死亡した翌月から80歳に達するまでに支給する場合の、支給総額の現在価値に相当する金額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

・所得税、住民税の節税

保険料納付と年金給付の両方に税制上の優遇措置があります。支払った保険料の15～30%程度が節税になります。さらに、将来受け取る農業者年金は、公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方は、公的年金等の合計額が120万円まで全額非課税となります。

・国からの保険料助成がある唯一の政策支援年金

認定農業者で青色申告をしているなど、意欲ある担い手には国から月額最高1万円の保険料国庫補助があります。一定要件を満たせば、国庫補助額も自分の年金として受け取れます。

・保険料を自由に選択

老後の設計に合わせて保険料を月額2万円から6万7千円までの千円単位で自由に選択でき、いつでも保険料を見直すことができます。

EIZO(株)が町に宅地を寄付

白山市のEIZO(株)が、旧ウシツ電子跡地を町に寄贈しました。10月29日、EIZOの実盛祥隆社長に持木町長から感謝状が贈呈されました。

実盛社長は「当社の成長の礎となった場所です。町に恩返しができればと思います」と話し、町の発展に期待を寄せました。



感謝状を手にする実盛社長(左)

ニュース

消防職員意見発表会で
消防士が意気込みを披露



表彰状を手に笑顔を見せる2消防士

第33回消防職員意見発表会は10月29日、輪島市の奥能登広域圏事務組合消防本部で開催されました。能登消防署からは2消防士が発表しました。

■優秀賞 川崎大樹
「人との繋がりに」
「努力賞 曾良歩夢
「災害に強い地域をつくるために」

お知らせ

国民年金保険料は
町民税等の控除対象です

日本年金機構は、一年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を、11月上旬から順次発送しています。

のと里山空港
12月のイベント



■14日①のっぴーグラスづくり

テーマ「のっぴーサンタ」
時間 10:00～12:00、13:00～15:00
場所 空港1階 能登の旅行情報センター
一家族1個。小学生以下優先、限定50個、参加無料

■23日②のと里山空港クリスマスイベント

時間 9:00～14:30
場所 のと里山空港ターミナルビル
内容
・サンタさんとトナカイさんが飛行機でやってくる!!
・サンタ&ゆるキャラと記念撮影
・「エンジェルキッス」による大道芸パフォーマンス
・特別販売 AIRPORT 人気スイーツ物産展
・ハンドベル演奏 ほか
さまざまなイベントで皆様をお待ちしています。



お知らせ

オープンガーデン2015
参加者を募集します

奥能登ウェルカムプロジェクトでは、のとキリシマツツジのあるお庭を公開いただける人を募集します。詳しい資料と応募用紙を送付しますので、下記までご連絡ください。

公開予定期間
平成27年4月下旬～5月中旬

参加要件

- ・奥能登2市2町(輪島市・珠洲市・穴水町・能登町) 地内にあること
・のとキリシマツツジの庭木がある(鉢植え不可)
・共通の看板を設置することができること

・来訪者を歓迎することができること
募集締切 12月26日(金)

☎奥能登総合事務所企画振興課
0768(26)2303

# 秋の叙勲・褒章

11月2日に褒章が、3日に叙勲が発表され、町からも2人が受章されました。その功績を紹介いたします。

藍綬褒章

## 星野紀子さん

(布浦)

星野紀子さんは昭和45年に工業統計調査員に任命され、現在に至るまで40年以上、各種統計調査に携わっています。担当範囲は内浦地区全体と広く、「地域をくまなく歩きました」と振り返ります。

星野さんは統計調査以外にも国民健康保険運営協議会委員や民生委員児童委員を歴任しました。

交通推進隊員や児童館でのお茶会活動など、ボランティアにも積極的に関わっています。「高校生になった子が、お茶会の先生と覚えていくのが、声をかけてくれるのがうれしい」と話し、活動の励みになっています。



## 旭日単光章 道場好昭さん

(瑞穂)

道場さんは昭和34年に消防団員となり、平成15年までの43年6カ月の長い間、地域の安全を見守り続けてきました。

平成7年からは能都町消防団山田分団長に就任し、隊員を指揮する立場になりました。地域の安心安全のため、消防思想の普及に貢献し、これまでにも消防庁長官の永年勤続功労章や知事功労章、日本消防協会の功績章を受章しています。



# 能登町民文化祭



第10回能登町民文化祭は内浦運動公園を会場に11月1、2日の日程で開かれました。町文化協会が10周年の節目を迎えるため、2日に行われた芸能発表では吟道錦流常務



特別出演した小城啓城さん

110点の出品があり、丹精込めて育てられた大輪の花が競演を見せました。記念事業として町立美術館で町出身の画家・西房浩二さんの大作展も開かれました。



# 図書館へおいでよ

## ■中央図書館の新刊

- ・冬を待つ城 安部龍太郎
- ・家族シアター 辻村深月
- ・スカーフェイス 富樫倫太郎
- ・医者嘘 石井光
- ・東大生が捨てた勉強法 東大家庭教師友の会
- ・負けてたまるか! 中村修二
- ・ねぎのレシピ 瀬尾幸子



## ■貸出冊数・貸出期間

- ◇本：5冊まで、2週間 ◇雑誌：2冊まで、1週間
- ◇ビデオ類：2点まで、2週間
- (中央図書館・柳田教養文化館合計の冊数です)
- ・インターネットで蔵書を検索できます

<http://lib.town.noto.lg.jp/WebOpac/webopac/index.do>

中央図書館 (☎ 62-8520「コンセルのと」内)

〈開館時間〉9:00～18:00 (土・日曜日は17:00まで)

〈休館日〉月曜日、祝日、年末年始

〈行事予定〉読書会 12月17日(土) 13:30

柳田教養文化館 (☎ 76-1585)

〈開館時間〉10:30～18:30 (月曜日は17:00まで)

〈休館日〉日、祝日、年末年始

## 児童館だより

### こどもみらいセンター ☎ 62-1503 (域内☎ 65-1503)

◆開館時間 9:15～17:00 ◆休館日 月曜日、第3日曜日

★：未就園児の親子対象

・2日(土)～19日(金) 9:15～17:00 クリスマスツリーを飾ろう

13日(土) 13:30 クリスマス会

19日(金) 10:30 ★身体計測、クリスマス制作

28日(土) 10:30 「親子門松づくり」参加費 100円

会場・コンセルのと、19日までにセンターに申込

### まつなみキッズセンター ☎ 72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日

3日(土) 15:00 読み聞かせボランティアひまわり

10日(土) 15:00 クリスマス☆ミニお茶会

12日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)

17日(土) 15:00 あっぷるたいむ「おやつパーティー♪」

20日(土) 14:00 読み聞かせボランティアひまわり・お正月飾りづくり

※材料費 1,000円、要申込、定員 20人

23日(土) 13:30 クリスマス☆お楽しみ会

25日(土) 9:00 松波公民館合同・こどもケーキ作り教室

※材料費 200円、要申込、定員 20人

26日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習)

# EnjoyNoto 能登町民文化祭

奥能登イベント情報

輪島市



## ○きらめきクリスマス

〈日時〉12月1日(土)～25日(木)

〈会場〉白米千枚田

白米千枚田の散策路に、期間限定で雪吊りをイメージしたペットボトルのクリスマスツリー2基。展望広場からの階段には、ペットボトルで彩られた竹の並木道が出現!

珠洲市



## ○珠洲吹奏楽祭 2014

〈日時〉12月14日(土) 13時30分開演

〈場所〉ラポルトすず

入場料：500円(小学生以下無料)

出演：すず吹奏楽団、珠洲市立緑丘中学校、県立飯田高等学校吹奏楽部、G-PULSATION D&B Corp

☎ラポルトすず ☎ 82-6200

穴水町



## ○穴水まいもんまつり"冬の陣"かきまつり

〈日時〉1月10日(土)～3月31日(日)

「焼きがき」や「カキフライ」など、かきづくしのフルコースを加盟店でご堪能いただけます。詳細は公式ホームページで。

☎穴水町観光交流推進室 ☎ 0768-52-3790

・能登町は「神々の宴 in 植物公園」を紹介

ふるさと自慢レシピ ～食改さんが、次世代に伝えたい能登町のふるさとの味～

## めぎすの団子汁

新鮮な魚のすり身を使った汁物で、能登では子どもから高齢者までなじみが深い一品です。めぎすは秋から冬が旬ですが、すり身は他に、とびうお・あじ・いわし・カワハギなどもおすすめです。いずれも「ごぼう」との組み合わせが絶品の味わいです。

材料 4人分	
● めぎすのすり身	150g
● ごぼう	1/2本
A	
● 卵	1個
● 酒	大さじ1
● みそ	大さじ1
● かたくり粉	大さじ2
● 昆布だし汁	4カップ
● 塩	小さじ1/2
● しょうゆ	小さじ1
● 三つ葉やゆずなど	適宜

### 作り方

- ①ごぼうはさがきにし、水にさらしてアクを抜く。
- ②めぎすのすり身はすり鉢でよくする。Aを加えてさらによくする。
- ③鍋にだし汁、ごぼうを入れて煮る。沸騰したら②をスプーンなどで団子状にすくいながら入れる。浮き上がってきたら塩・しょうゆを加えて味を調え、火を止める。
- ④器に盛り、三つ葉やゆずの皮をはなす。

※すり身は、魚の頭を取り、骨ごと包丁でたたいて細かくし、すり鉢でするとよい。



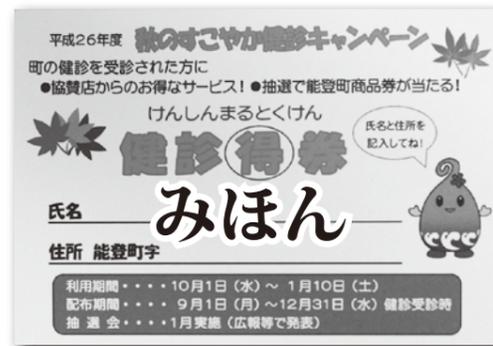
## お急ぎください！

### 健診まる得券の利用は1月10日(土)まで

「秋のすこやか健診キャンペーン」で配布した「健診まる得券」の使用期間は1月10日までです。

対象のお店で利用すると、割引などのお得なサービスが受けられるほか、抽選で能登町商品券が当たるダブルチャンスがあります。

健診まる得券をお持ちの方は、期間中にぜひご利用ください。



## 献血にご協力ください

日時 12月19日(金)  
9:00～12:00、13:00～15:00  
場所 役場能都庁舎

### ◆3歳児検診

日時 12月18日(土) 受付 13:00～13:15  
対象 平成23年8月11日～10月31日生  
場所 役場能都庁舎 4階大集会室  
持ち物 母子健康手帳、健診おたずね票、採尿容器

### ◆乳児健康診査・BCG接種

日時 平成27年1月8日(土) 受付 12:45～13:00  
対象 平成26年8月16日～9月29日生  
場所 役場能都庁舎 1階集会室  
持ち物 母子健康手帳、健診おたずね票、BCG予診票、バスタオル1枚

### ◆離乳食教室に参加しましょうースタート編

これから離乳食をはじめる頃から、7カ月までのお子さんと保護者を対象とした教室です。

日時 平成27年1月15日(土)  
受付 9:50～10:10  
参加費無料。身体計測もできます。申込が必要ですのでご連絡ください。  
場所 こどもみらいセンター  
持ち物 母子健康手帳、大人用エプロン、子ども用エプロンとスプーン、おむつなど  
担当 保健師・栄養士  
〈連絡先〉健康福祉課☎72-2504

## 年末年始小児科救急当番医

年末年始の長い休み中に、小さなお子さんが安心して過ごせるよう、小児科救急当番医を実施します。救急診療時間は午前9時～正午まで。受診の場合、事前連絡が必要です。

### 小児科救急当番日程表

当番医/日	12月27日(土)	28日(日)	29日(月)	30日(火)	31日(水)	1月1日(木)	2日(金)	3日(土)
市立輪島病院 ☎0768-22-2222			救急		救急		救急	
珠洲市総合病院 ☎82-1181			救急		救急		救急	
公立宇出津総合病院 ☎62-1311				救急		救急		救急
まるおかクリニック ☎0768-52-8228	午前 通常診療		1日 通常診療	救急				救急

都合により担当が変更になることがありますので、医療機関に事前に確認の上、受診してください。

### 能登北部医師会

## 12月・年末年始の休日当番医

【受付 9:00～12:00】

※都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

7日(日)	14日(日)	21日(日)	23日(火)
宮丸医院 ☎0768-43-1331 輪島市門前町	桶本眼科医院 ☎0768-22-4056 輪島市釜屋谷町	伊藤医院 ☎0768-22-2313 輪島市水守町	嘉門内科クリニック ☎0768-22-6776 輪島市杉平町
大貫眼科医院 ☎82-0017 珠洲市上戸町	生垣医院 ☎76-0001 能登町柳田	井端内科医院 ☎84-2535 珠洲市宝立町	直井医院 ☎62-0180 能登町宇出津

28日(日)	30日(火)	31日(水)	1月1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)
船木クリニック ☎0768-23-0866 輪島市釜屋谷町	まるおかクリニック ☎0768-52-8228 穴水町川島	大和医院 ☎0768-43-1323 輪島市門前町	定梶医院 ☎0768-45-1351 輪島市門前町	永井医院 ☎0768-22-0032 輪島市鳳至町	まるおかクリニック ☎0768-52-8228 穴水町川島	粟倉医院 ☎0768-32-0018 輪島市町野町
升谷医院 ☎72-1151 能登町松波	なかにに医院 ☎82-8333 珠洲市上戸町	みちした内科クリニック ☎82-0877 珠洲市飯田町	はしもとクリニック ☎62-8300 能登町崎山	田中クリニック ☎82-0500 珠洲市野々江町	持木メディカルクリニック ☎62-1210 能登町宇出津	小西医院 ☎82-6800 珠洲市正院町

# 平成 27 年度 保育所・保育園の入所受付を開始します



広報 10 月号で概要をお知らせしたとおり、子ども・子育て支援新制度での保育所等「認定申請 兼 入所申込」の受付を次のとおり行います。

- 受付期間** 12月8日(月)～26日(金)
- 受付場所** 町内の各保育所、保育園
- 申込方法** 入所希望の保育所・園で「認定申請兼入所申込書」を記入し、必要書類を添えて提出してください。

健康福祉課児童福祉係 ☎ 72-2512

## 町内の保育所・保育園

名称	住所	電話番号	受け入れ年齢	施設の種類
しらさぎ保育所	宇出津二 22	62-0304	0歳6ヵ月～	1号、2号、3号認定を受け入れる認定こども園への移行を予定
ひばり保育所	崎山 1-73	62-1502		
鶴川保育所	鶴川 20-24	67-1623		
高倉保育所	姫 12-36	62-0670		
柳田保育所	柳田口 245-1	76-0154		
上町保育所	天坂い 65	76-0136	0歳2ヵ月～	2号、3号認定を受け入れる 今までの保育所
松波保育園	松波 8-2-1	72-1157		
小木保育園	小木 4-59	74-1107		

## 子ども・子育て支援新制度で変わること

- ・お子さんの年齢や、保護者の就労状況、家庭状況から町が保育の必要性を判断し、次の区分で認定されます。

認定区分	対象者	施設
1号認定	お子さんが満3歳以上で、2号認定に該当しないが教育を希望される場合	認定こども園
2号認定	お子さんが満3歳以上で、「保育の必要な事由」に該当し、保育所や認定こども園などで保育を希望される場合	保育所
		認定こども園
3号認定	お子さんが満3歳未満で、「保育の必要な事由」に該当し、保育所や認定こども園などで保育を希望される場合	保育所
		認定こども園

- ・保育を必要とする事由

- ・就労…フルタイムのほか、パートタイム、自営業などの居宅内の労働など、基本的に全ての就労
- ・妊娠、出産
- ・保護者の疾病、障害
- ・同居又は長期入院等している親族の介護・看護
- ・災害復旧
- ・求職活動…起業準備を含む
- ・就学…職業訓練校等における職業訓練を含む
- ・虐待やDVのおそれがある場合
- ・育児休業取得中に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要な場合
- ・その他、上記に類する状態として町が認める場合



### 高砂や

出生児 両親の名前 住所

寺分 猛	充・陽子	宇出津
瀨爪 幸	忠・由佳利	秋吉
梅木 琴実	大嗣・あゆみ	笹川
中野 大志	亮・奈津美	真脇
橋本 潤	勝太・梨乃	小木
秋脇 琉衣	元・章子	真脇
後田 朱里	勇平・朋美	小木
上端 乃愛	修平・歩実	瑞穂
岡平 琉希	新治・八代枝	柳田
今花 駿	直仁・佳代子	金沢市

氏名 本籍 住所

新崎竜大 真脇 崎山  
上田優子 宇出津 崎山

### おくやみ

氏名 年齢 住所

山下竹夫	93歳	宇出津山分
上野アサ子	75歳	鶴町
戴下勝治	88歳	新保
林 征夫	75歳	波並
大嶋政一	83歳	久田
小杉喜一	85歳	矢波
沖野富美	81歳	小島
鹿渡鈴子	87歳	宇出津
江端 哲	71歳	石井
隅田武雄	90歳	小川
新村トモイ	93歳	小島
壁 清一	79歳	宇出津
櫻井たかの	67歳	真脇

山崎増雄さん(本木) 10万円

### 寄付御礼

井上秀雄	82歳	松波
桶屋久一	81歳	国光
浦 清一	76歳	宇出津
武田 操	82歳	波並
橋本 喙	78歳	小島
桶谷悠記	72歳	小島
越中和喜知	68歳	宇出津
桑名みち子	85歳	小島
大嶋長次郎	89歳	久田
釣谷庄次	84歳	鶴川
岩野きくゑ	81歳	黒川
河元コトエ	90歳	真脇
上出巳之子	71歳	四方山
藤野廣子	92歳	宇出津
竹内賢雄	84歳	宇加塚
安田 弘	86歳	山田
間島倭子	88歳	藤波
高濱忠一郎	83歳	真脇
出水すぎ	95歳	大箱
波瀬小一	89歳	小島
安宅志乃	103歳	宇出津山分
谷内春枝	85歳	小間生
竹口テル子	88歳	鶴川
堂前ひさの	92歳	恋路
小嶋文子	92歳	恋路
橋本 鐵	80歳	宇出津

## 人口・世帯数

平成 26 年 11 月 1 日現在

人口(人)	19,322	- 18
男	9,122	- 17
女	10,200	- 1
世帯数(戸)	7,964	+ 4

ふるさと能登町応援寄付者

斎藤政克さん(堺市)  
笠井政人さん(白山市)  
笠井晶子さん(白山市)  
前田志朗さん(東京都)  
裕 信雄さん(埼玉県)  
前田千恵子さん(愛媛県)  
山瀬昌紀さん(金沢市)

新幸雄さん(小松)  
井上和正さん(松波)  
澤田健一さん(布浦)  
宇出津地区婦人会  
坂下茂昭さん(恋路)  
浦 俊和さん(宇出津)  
上出八郎さん(四方山)  
藤野 清さん(宇出津)  
匿名  
以上、能登町社会福祉協議会へ  
上谷秀一さん(東京都) 10万円  
以上、能登町へ

入院に強い保障  
**入院保障2型**

月掛金 2,000円 で 入院日額 10,000円  
(18歳～60歳の保障額)

お問い合わせと資料のご請求は  
☎ 0120-63-5011  
石川県民共済 検索

ホームページからはこちら  
石川県民共済 検索

携帯電話からはこちら  
石川県民共済 生活協同組合

お知らせ

このたび諸般の事情により、年末のホーライ販売を終了させて頂きまして、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 12 月 店主

**くすりの中谷** 宇出津新町ポスト前  
TEL.62-0057

# くらしの掲示板

## 福祉・介護のしごと出張相談

福祉のしごとについて詳しく知りたい方、興味のある方の相談コーナーを設置します。

〈日時〉12月18日(土) 13:30～15:00

〈場所〉ハローワーク能登

☒石川県福祉人材センター

☎076-234-1151

## 参加無料・職場体験しませんか

〈対象者〉「福祉・介護」分野への就職に関心がある方

※福祉の資格・経験等は問いません。

〈活動内容〉石川県内の社会福祉施設(高齢者・障害者・児童)での職場体験(体験先のプログラムにより異なります。)

〈申し込み・問い合わせ先〉

石川県福祉人材センター

☎076-234-1151

## 林業退職金未受領者を探しています

林業退職金制度(林退共)に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べいたします。

また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに対し、各種手続き(共済手帳の紛失、退職金の請求等)の必要が生じた場合は、速やかに対応いたしますので、ご相談ください。くわしくはホームページでもご案内しています。

「林退共」で検索して下さい。

林退共

検索

☒林業退職金共済事業本部

☎03-6731-2887

## 放送大学4月生募集

平成27年度第1学期(4月入学)の学生を募集します。放送大学はBSテレビ放送やインターネットを通して学ぶ正規の通信制の大学です。

大学(学士)卒業を目指す方や、好きな科目を1科目だけ勉強したい方も入学ができます。(入学試験はありません。)

〈出願期間〉2月28日まで  
資料を無料で差し上げています。

〈入学説明会〉

日程

・1月17日(土)、18日(日)

・2月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)

時間 10:30

場所 石川学習センター

〈個別相談会〉随時開催(要電話予約)

☒放送大学石川学習センター

☎076-246-4029

## 12月の心配ごと相談日

■能都庁舎

9日(火)、19日(金) 10:00～12:00

■笹ゆり荘

9日(火) 10:00～12:00

■内浦福祉センター

10日(水) 13:30～15:30

■小木活性化センター

22日(日) 13:30～15:30

☒社会福祉協議会 ☎72-2322

## 12月の断酒会

断酒会は、お互いの体験談などを話しながら、断酒の継続ができるように取り組む会です。アルコールをやめたいのにやめられない方、アルコールの問題で困っているご家族の方、ぜひ一度、断酒会にご参加ください。

〈日時〉15日(日) 14:00～15:00

〈場所〉能登北部保健福祉センター

☒能登北部保健福祉センター

☎0768-22-2011

## 12月の行政相談日

暮らしの中のさまざまな困りごと(登記、税金、年金、相続、遺言、債務等)について、総務省から委嘱された行政相談委員が無料で相談に応じます。気軽にご利用ください。

〈相談時間〉10:00～12:00

会場	日程	相談委員
笹ゆり荘	12月16日(火)	廣橋義男 ☎76-0088
能都庁舎	12月19日(金)	吉岡梅子 ☎62-1000

☒総務課 ☎62-8510

## 12月のこころの健康相談

家庭や職場、学校における“こころ(精神)”の不安や悩みについてお気軽にご相談ください。訪問相談も応じています。前週金曜日までに予約が必要です。

■精神科医による相談

第1・2・4月曜日 1、8、22日

〈場所〉能登北部保健福祉センター

〈時間〉15:00～17:00

第3月曜日 15日

〈場所〉珠洲地域センター

〈時間〉15:30～17:00

■保健師や相談員による相談(随時)

平日(月～金) 8:30～17:45

☒能登北部保健福祉センター

☎0768-22-2011

☎0768-84-1511(珠洲地域センター)

## 12月の法律相談日

4、11、18日 毎週木曜日

〈時間〉13:45～16:15

〈場所〉穴水町保健センター

相談前日午後5時までに電話にてご予約ください。先着5名(組)まで。  
〈相談料〉30分以内:5,400円  
※負担が困難な方で、法律援助資力基準に該当すれば、1回のみ無料。  
クレサラ相談は初回無料。

☒金沢弁護士会 ☎076-221-0242

## 能登町何でも相談「カナリア」

家庭教育に関する悩み、家族からの暴力など、一人で悩みを抱え込まず相談してみませんか?

相談電話番号 ☎76-2874

毎週(火)・(水)10:00～14:00※祝日、年末年始は休み。

## 3月30日、デジアナ変換終了予定

平成27年3月で、テレビ放送のデジタルからアナログへの変換サービス(デジアナ変換)が終了し、アナログ受像機でテレビ放送が見られなくなります。ケーブルテレビにご加入の世帯で、アナログテレビ(ブ

ラウン管テレビ等)で番組を見ている方は、対策をお急ぎください。



- ①デジタルテレビに買い替える
- ②地デジチューナーを購入して、今お使いのアナログテレビに接続して視聴する

☒広報情報推進課 ☎76-8301



お食事やゲームで楽しみましょう。

日時 12月21日(日)18:00～

送迎バス・能都庁舎17:30発

会場 国民宿舎能登うしつ荘

コミュニティセンター

参加費 男性2,000円

女性1,000円

しめきり 12月15日(日)

☒能都サービス室 ☎62-8500



年末年始特別警戒実施中



その相手、本当に息子さん?

- 電話番号が変わった
- 会社の金を使い込んだ
- 友人の保証人になった
- 株で失敗した
- 女性を妊娠させた。



必ず確認  
家族・警察に相談しましょう

ほ～す君日記  
宇出津防犯委員

指名手配被疑者捜査強化月間に、町内ショッピングセンターの来店者にチラシを配布して、捜査への協力を呼びかけました。



☒珠洲警察署 ☎82-0110  
能登庁舎 ☎62-1334

### 有料広告

お手伝いします 素敵な暮らし

**ホームセンタームサシ FC能登店**

MUSASHI

営業時間 AM9:00～PM7:00

☎62-3634 (宇出津新港2丁目24番地1)

いつでもご満足頂ける品揃えで、お客様のご来店をお待ちしています。

私たちの目指す店創り

- 一、豊富な品揃え
- 一、最新の品揃え
- 一、地域に合わせた品揃え
- 一、いつでも安心価格
- 一、明るく元気で笑顔の接客

### 有料広告

**職員 募集**

◆介護職  
◆看護職

職場体験・見学・ボランティア  
随時受付しております

社会福祉法人 寿福社会  
ユニット型特別養護老人ホーム **みやび**

輪島市町野町寺地 1027 番地  
TEL 0768-32-0006

鈴屋入門時の想像図。手前が加藤吉彦、右が本居宣長。



酒垂神社宮司・加藤三千雄さんが先祖の旅路をたどった「千尋の浜草」を終了にあたって、加藤さんから改めて先祖・加藤吉彦の功績について寄稿いただきました。

### 本居宣長を三度も訪ね慕った 宇出津の国学者、加藤吉彦

宇出津の産土社、酒垂神社は酒樽に乗って漂着した神様を祀っているといういわれがあります。12代宮司加藤吉彦（1762～1836?）は、寛政7（1797）年5月8日、国学者の



源氏物語の注釈書「月の跡見」夕顔の巻

### 遺言どおりに

#### 宣長の位牌を祀る

宣長と別れて2年後の享和元（1801）年、宣長は数え72歳で亡くなりました。これを聞き知った吉彦は大変悲しみ、『藤のかき葉一』に「享和のはしめのとし九月二十九日師の君本居大人身まかりたまふ」と残して、次の歌を詠んでいます。

「秋の夜の名残の風のさそひきて  
雲隠にし君そかなしき」

当家の霊舎には本居宣長の位牌が祀られています。大ぶりの笏板に、宣長の遺言どおりに、「秋津彦瑞櫻根大人御霊」と記されています。宣長はこの位牌を一日中机の傍らに置き、和歌の道に精進し、毎年祥月命日には歌会を催し研鑽を積んでほしいと述べています。吉彦はその遺言どおりに、宣長命日に歌を詠んで偲んでいたことが『藤



加藤家に伝わる宣長の位牌。遺言の通りの文言が記され、命日の歌会で飾られたもの。

本居宣長に師事するために故郷を発ちました。

吉彦は宇出津から伊勢松坂までの紀行、鈴屋入門と松坂での生活、そして宣長との別れまでを『千尋の濱草』と題して、和歌をまじえた紀行文を書き遺しました。裏表紙の連載では、その道をたどった旅日記です。

吉彦は最初の訪問の2年後、寛政9（1799）年、再び松坂の宣長を訪ねて多くの写本を手掛けました。宣長の死後も松坂を訪ね、宣長の遺言を忠実に守りとおす人生だったようです。能登に住みながら伊勢の松坂に3度も赴き、宣長から直接の教えを受け、自身もその生涯に多くの著書、写本を残しました。

晩年に書かれた「月の跡見」45巻は、吉彦自身の集大成として著わした「源氏物語」の注釈書です。

また宣長との邂逅から著し始めた『藤のかき葉』「一」と「三」は（「二」を欠いています）、宣長に師事した塾生が、地元に戻ってどのような考え方ももって地域に活躍したかを考えるもので、極めて興味深い内容です。

吉彦の人生観を示し、能登を歌い上げる内容は、この仕事に生まれついたその意味を、我々に示してくれます。

のかき葉一、「三」で知ることができま

す。吉彦3度目の伊勢松坂行は、宣長の没3年後（文化元年・1804年）のことで、墓参を目的としたようです。

### 宣長からの書状

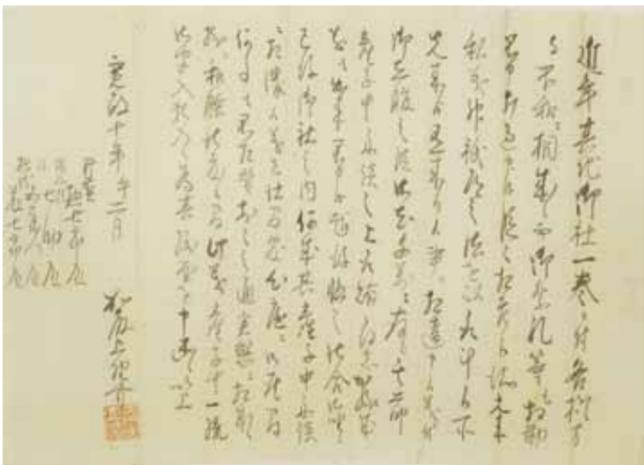
宣長が吉彦に宛てた手紙があります。寛政11（1799）年、宇出津・常椿寺の抜山と対面したことなどを伝えています。

吉彦はこの年の4月、再び宣長のもとに向かい、6月まで松坂に滞在しました。10日に門人料（授業料）1分を宣長に納めているので、帰郷はそのすぐ後と思われる。

宇出津へ帰った吉彦は、隣の常椿寺の抜山和尚や清水悟里、秦藤三郎、真脇久右衛門を督励し、松坂に向かわせたのであろうと思われま



先祖・吉彦も眺めたであろう、酒垂神社から見下ろす港町の風景



加藤吉彦が鶴町の有力者に当てて送った詫言状とその抄訳

近年当神社（鶴町）のことについて、皆様方と不和になつて祭礼も勤めず過ぎしてきましたが、よくよく考えると、もと私が神道の法を推進めたために、前からのしきたりと違つていたので、在所の皆様が御立腹されたことは御尤もなことです。その節は氏子中とも相談申し上げ行いますので、これからはこのようなことがないよう後悔いたしております。（略）和睦いたしたく書面で申し上げます。

寛政十年二月 加藤上野介  
肝煎 惣七郎 殿  
組合頭 七助 殿  
同 五左衛門 殿  
惣代 藤七郎 殿

### 能登に残る史料から

#### うかがえる宣長の存在

当時の神社の祭礼は、きわめて仏教色の強いものでした。宣長は「直日の御霊」で、これを真つ向から否定して、祭礼は仏教や儒教に染まったものであつてはならないと主張しています。

寛政10年2月、鶴町地区の祭礼にあ

たり、宣長の思想に触発された吉彦は、祭りからの仏教色排除をもくろんだようです。結果、地元からの反発を受けて詫言状を当時の肝煎大町家などに入れています。

宣長との出会いを契機として、俳句から、宣長のいう「敷島の道」に転換し、国学や和歌に大きく比重を傾けていったようです。このことが宇出津の知識人に大きな影響を与えたと思われ